

[成果情報名] 黒色ポリエステル製果実袋の袋掛けによるニホンナシ「幸水」の熟期促進

[要約] ニホンナシ「幸水」に幼果期から成熟期まで黒色ポリエステル製袋を掛けると果皮の着色は早まり、成熟期が4～5日促進される。

[キーワード] ポリエステル製袋、ニホンナシ

[担当] 農林技術開発センター・果樹研究部門・ビワ・落葉果樹研究室

[連絡先] 0957-55-8740

[区分] 果樹

[分類] 指導

[背景・ねらい]

ニホンナシ「幸水」は8月上中旬が成熟期であるが、需要が高いのは盆前で盆明けには価格が急落している。そこで熟期を促進し、収穫期を前進化するための果実袋について検討した。

[成果の内容・特徴]

1. 黒色ポリエステル製果実袋を掛けると果皮色および地色は無袋より高い。赤パラフィン果実袋は果皮色及び地色は無袋と差はない。果肉硬度や糖度、pHは袋掛けの有無による差は認められない。白色ポリエステル製果実袋では果皮色に斑状の緑が残り、外観が劣る（表1）。
2. 黒色ポリエステル製果実袋を掛けると赤パラフィン果実袋および無袋より収穫時期が4～5日早まる（図1）。

[成果の活用面・留意点]

1. ポリエステル製果実袋はカラータイ等で果梗部に固定し、満開約50日後から収穫期まで被袋した。
2. ジベレリンペーストと併用した結果である。
3. ポリエステル製果実袋はテトロン製筒状の袋で数回は使用可能である。

[具体的データ]

表1 果実袋種類と果実品質及び果皮色

袋種類	果実重 (g)	果皮色	地色	果肉硬度 (lbs)	糖度 (Brix)	pH	比重	色差	
								a	ΔE^z
2007年									
黒色 ^o ポリエステル	341.7	3.0a ^y	3.6a	5.3	12.1a	5.00	1.01	-6.63	8.19
白色 ^o ポリエステル	301.8	3.2a	3.3ab	5.2	12.2a	5.13	1.00	-9.81	5.79
赤 ^h パラフィン	343.7	2.5b	2.9ab	4.8	11.9a	5.11	0.99	-6.77	4.60
無袋	351.6	2.8a	2.8b	5.0	12.3a	5.11	1.00	-6.18	-
2008年									
黒色 ^o ポリエステル	336.8	3.2a	3.1a	6.0	12.7a	5.41	1.03	-2.74	2.87
赤 ^h パラフィン	371.1	2.5b	2.4b	5.5	12.4b	5.48	1.02	-3.88	4.03
無袋	358.8	2.3b	2.1b	5.6	13.0a	5.39	1.02	-3.03	-

$$^z \Delta E = \sqrt{(L_1 - L_2)^2 + (a_1 - a_2)^2 + (b_1 - b_2)^2}$$

^y 同一年度の異なる文字間にはTukeyの多重検定で5%レベルで有意差有り

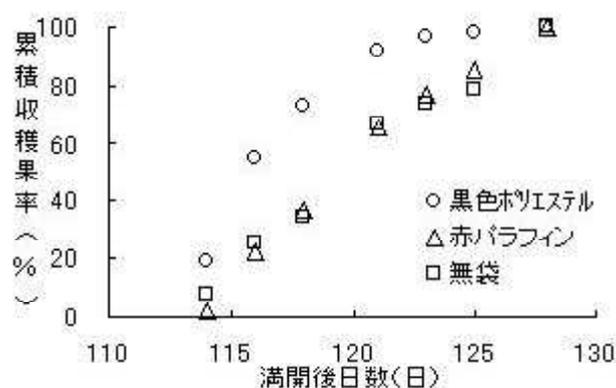


図1 袋種類と累積収穫率 (2008年)



図2 ポリエステル製袋の固定

[その他]

研究課題名：温暖化に対応した落葉果樹の生育調節技術と低コスト施設栽培の開発

予算区分：県単

研究期間：2007～2011年度

研究担当者：田中 実、林田誠剛、松浦 正